2024年9月11日・12日 行 政 報 告 資 料 文化スポーツ振興部文化振興課

芹ヶ谷公園"芸術の杜"パークミュージアム推進事業の進捗状況について

- 1 (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事に伴うコンストラクションマネジメント業務の実施結果
- 2 パークミュージアム整備・運営事業 (PFI) の今後の公募スケジュール
- 3 Future Park Lab 2024 Summerの実施 について報告します。

1 (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事に伴うコンストラクションマネジメント業務の実施結果

本工事では、着実な工事の発注にむけて、設計図書を客観的な視点で検証し、 工事費や工期、工法等が適切であるかを評価・見直しをするCM業務を実施しま した。

2024年度のCM業務では、2023年度に実施したCM業務において報告されたVE提案の実現性や効果等を精査し、その結果を設計図書に反映させて実 勢価格の確認を行いました。

(1) VE提案の精査結果

VE提案を精査した結果、3項目(下表:番号1から3)を採用し、設計図書に反映しました。また、4項目(下表:番号4から7)について、工事請負契約後に、施工事業者との協議や施工段階における現場確認を行ったうえで、採否を検討し判断することとしました。

番号	結果	項目	《参考》概算工事費 (稅込:千円)
1		EV 棟に至る通路の外装材の仕様変更	▲ 8, 300
2	設計図書反映	EV 棟に至る通路の手摺の仕様変更	▲ 4, 700
3		外部手摺等の表面仕上の変更	▲ 2, 800
4		クレーンの設置位置の変更	
5	工事請負契約後	外装タイルの施工範囲の変更	未定
6	に採否判断	擁壁の一部にPC既製品を代用	八 足
7		国際版画美術館入口通路の仕様変更	

(2) 実勢価格の確認結果

VE提案を反映させた設計図書を基に、メーカー見積の再取得や最新の 単価による積算を行い実勢価格との確認を行った結果、工事予定価格を算定 しました。

≪参考:不採用とした主なVE提案≫

	項目	不採用の理由	
	タイルの仕様変更(収蔵庫棟)	美術館の全体デザインに関わり、意匠	
外装	陶板タイル⇒一般タイル・塗装・	性・品質が低下するため	
	RC打ち放し等		
内装	巾木や床タイルの仕様変更、天井	美術館としての意匠性が低下し、かつ費	
	の収まりの変更	用対効果が低いため	
構造	階高の縮減、床レベルの変更	計画通知の再取得等手続きが必要になり	
		事業全体の大幅な遅延が生じるため	

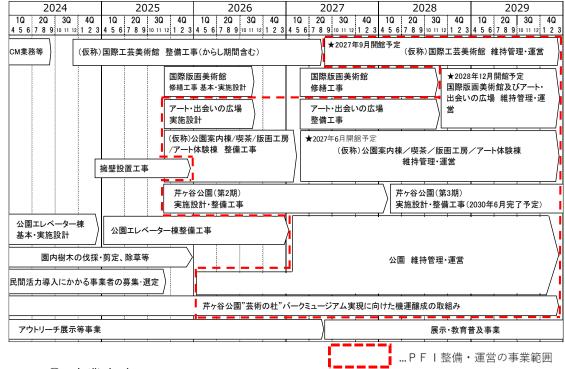
2 パークミュージアム整備・運営事業 (PFI) の今後の公募スケジュール

芹ヶ谷公園"芸術の杜"パークミュージアム整備・運営事業者の選定に向けた、PFI 法に基づく公募スケジュールについて、報告いたします。

(1) 事業の概要

① 事業範囲

赤枠で囲われた整備及び運営事業が本事業の事業範囲です。



② 事業方式

BTO (Build-Transfer-Operate) 方式及び RO (Rehabilitate-Operate) 方式

- ③ 予定価格
 - 11,089,561千円
- ④ 事業期間
 - 2026年1月から2040年3月末まで
- ⑤ 事業者の決定

公募型プロポーザル方式により事業者の選定を行います。事業者選考評価委員会が提案を総合的に評価し、その結果を基に市が優先候補者を選定いたします。

(2) 今後のスケジュール

- 2024年10月 実施方針、要求水準書(案)の公表
- 2024年12月 本事業を特定事業として選定したことの公表 整備運営事業者公募開始(募集要項等の公表)
- 2025年 3月 資格審査通過者との対話の実施
- 2025年 7月 優先候補者の選定
- 2025年12月 事業者との契約締結

3 Future Park Lab 2024 Summer の実施

芹ヶ谷公園、パークミュージアムの将来の姿をみんなで想像し、創造する市民参加型の公園活用実証実験イベント「Future Park Lab」を2020年から年4回程度、季節毎に開催しています。

2024年8月17日(土)に「Future Park Lab 2024 Summer」を 開催しましたので、その状況についてご報告します。当日は延べ850人を超え る方々に参加していただき、公園の魅力や新たな活用方法を伝えることができま した。

(1) 影絵の人形を作ってみよう、不思議がいっぱい影絵の世界

今年度で3回目となる、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、町田市がホストタウンとなったインドネシアの伝統的な影絵ワヤン・クリットの公演と、影絵の人形を作るワークショップを行いました。ワークショップ参加者は午前中に作成した人形を使って、夜の公園で行った影絵のパフォーマンスに特別出演しました。また、今回は新たな試みとして、人形作りの前に国際版画美術館の企画展の一部を学芸員と見学し、作品づくりのインスピレーションを得る時間を設けることで、美術館や版画作品をより身近に感じていただけるようなワークショップを実施しました。

(2) 水辺で暮らす生き物を観察しよう

パークレンジャーと一緒に水辺の生き物観察とザリガニ釣り体験を行い、水辺の生き物について学びました。最後には、見つけた生き物を観察しながらスケッチをし、発表も行いました。

(3) ライトアップ「ひかり金魚が舞う芹ヶ谷の夏」

玉川大学の学生による、金魚とミズクラゲをテーマとしたライトアップを行いました。芹ヶ谷公園のあずまやを彩ることで、普段とは異なる幻想的な空間となり、公園を利用されている方々が足を止めて展示を楽しむ光景を見ることができました。

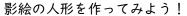
(4) その他のイベント

その他、ストームグラスやコマを作るワークショップ、公園で気軽にアートを楽しめる企画として、トラックの中に美術品を展示して全国を周るアートトラック、市内のアーティストによる遊べるアート作品の展示を行いました。また、自然を体験する企画として、木の皮むき間伐を通して芹ヶ谷公園の緑について学ぶワークショップや、愛犬と一緒にヨガを行うドッグヨガ等を実施しました。

庁内連携としては、町田市民文学館の企画展にちなんだ絵本の読み聞かせ 等の企画を実施しました。

[当日の様子]

不思議がいっぱい影絵の世界













ライトアップ「ひかり金魚が舞う芹ヶ谷の夏」





100,100

アートトラック

遊べるアート作品

ストームグラス

コマ作り ドッグヨガ









絵本の読み聞かせ

木の皮むき間伐

水辺の生き物観察





